

SEKONIC

デジタルラッシュ

model L-458

取扱説明書



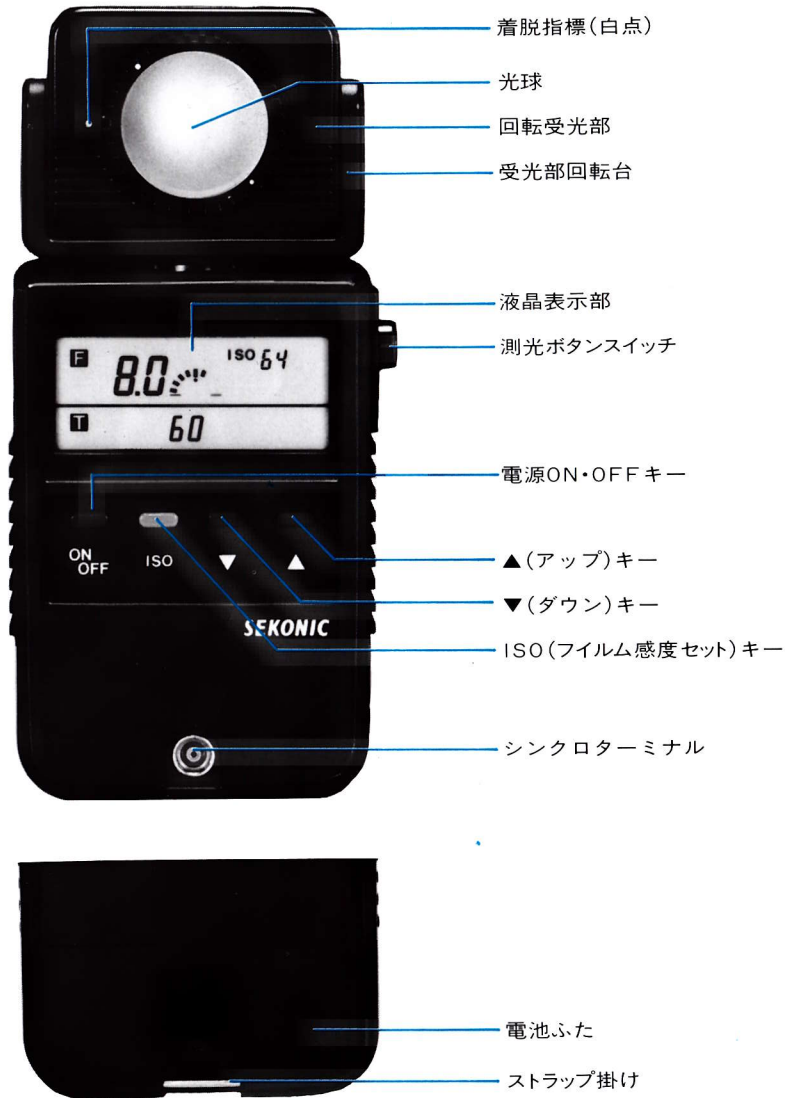
お買いあげをいただき、
まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みいただき、
セコニック・デジフラッシュ (L-458) の
性能を十分にご活用ください。

目次

名部の名称	2
液晶表示部	3
付属品について	
1. 光 球	4
2. 白色平板	4
3. 光角度板	5
4. シンクロコード	5
測定の準備	
1. 電池を入れます	6
2. 電圧をチェックします	7
3. ISO感度の切換え	7
4. タイムの切換え	8
露出の測定	9
コントラストの測定	11
測定範囲	12
取扱い上の注意	13
アフターサービスについて	14
仕 様	15

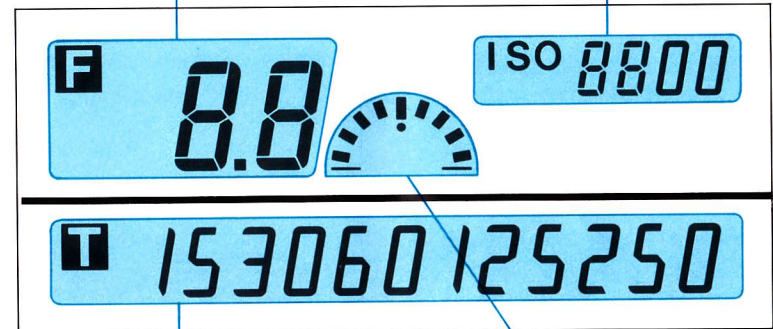
各部の名称



液晶表示部

①測定F値の整数部が表示されます。
 ②電源ON・OFFキーを、ONしたときに
 b.c文字が表示されます。
 (小数項表示部と連動します)

ISO(フィルム感度セット)キーと▼(ダウン)キー、▲(アップ)キーに連動してフィルム感度が可変表示されます。
 (ISO3~8000)
 電源ON・OFFキーをOFFにした場合ISO64に戻ります。



▼(ダウン)キー、▲(アップ)キーに連動して設定タイムが表示されます。
 ($\frac{1}{15}$ ~ $\frac{1}{250}$ 秒)
 電源ON・OFFキーを、OFFにした場合60に戻ります。

①測定F値の小数項表示
 (1目盛 $\frac{1}{10}$ AV単位で表示されます)
 ②電源ON・OFFキーを、ONしたときに電池の容量が表示されます。

付属品について

1. 光球

入射光式でポートレートや立体的な被写体の露出を測定するときに使用します。

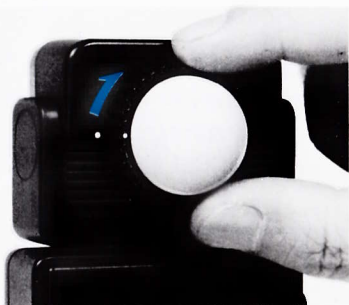
〔取付け方法〕

光球と受光部の白点（着脱指標）を合わせます。つぎに光球を矢印方向に静かに回転させるとクリックで確実にセットされます。

- 取りはずすときは、矢印とは逆の方向に回転させます。

〔測定方法〕

被写体の測定したい位置から、光球を正しくカメラの方向に向けて測定します。



2. 白色平板

入射光式で照明コントラスト、平面的な被写体の露出を測定するときに使用します。

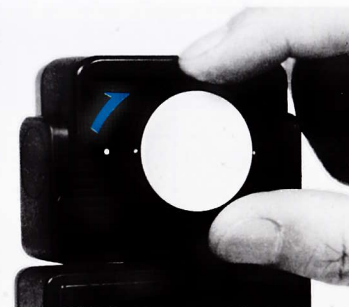
〔取付け方法〕

取付け、取りはずしは光球の場合と同じです。

〔測定方法〕

被写体の測定したい位置から白色平板を光源に正しくに向けて測定します。

ただし、平面的な被写体の露出を測定するときは、被写体の測定したい位置から白色平板をカメラの方向に向けて測定します。



3. 光角度板

反射光式で被写体の反射光（輝度）を測定するときに使用します。輝度域調整用として輝度の相対比（被写体のコントラスト）を知るときに必要なほか、入射光式では測定困難な場合にも使用します。

〔取付け方法〕

取付け、取りはずしは光球の場合と同じです。

〔測定方法〕

被写体に光角度板を正しく向けて測定します。なお被写体の部分測定をしたいときは、できるだけ近づいて測定してください。



4. シンクロコード（別売）

露出計とストロボを接続してフラッシュ光を測定するときに使用します。この長さ5mのコードは、3つのプラグを持ち、露出計とストロボおよびカメラを同調させることができるので、撮影をするときにもコードを差し換える必要がなく大変便利です。また露出計側の接続端子は、ロック機構がついているので確実に接続することができます。なおコードをはずすときは、ロックを解除するリングの部分を持ち、手前に引いてください。

5. ビューファインダー（別売）

ビューファインダー（L-518共通・受光角10°）をご使用の場合は、あらかじめ使用するフィルムのISO感度を4倍にセットしてご使用ください。

(例) ISO100のフィルムを使用する場合
 $ISO100 \times 4 = ISO400$
をセットして測定します。

測定の準備

1. 電池を入れます。

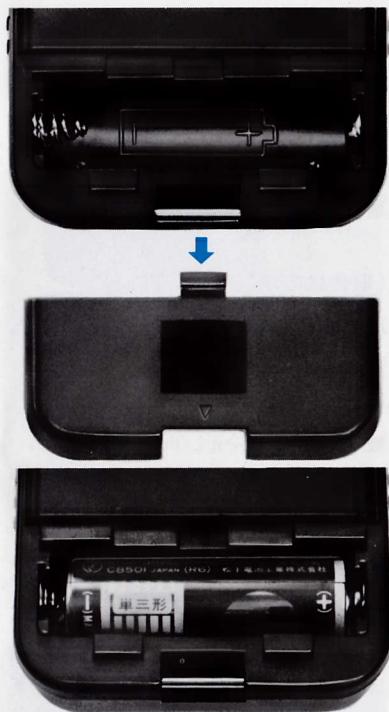
電池は、単三乾電池(1.5V)1本を使用します。なお、マンガン乾電池(SUM-3)で連続使用20時間以上(常温・連続使用状態)の測定ができます。

【電池の入れかた】

- ①電池ふたに指をかけ、押しながら矢印の方向に引いてはずします。
- ②電池の⊕の極性を確認し、電池ケース内の表示に合わせて、⊖側を先に入れ指で押すようにして、正しく挿入します。
- ③電池ふたを本体に合わせ、スライドさせて取りつけます。

【注意】

- 電池を入れるときは、電池の⊕⊖の極性をまちがえないでください。
 - 電池の⊕⊖の接点のよごれをのぞいて入れてください。
 - 電池の取り外しは、⊕側に指先をかけ⊖側に押すようにして取り外してください。
- ※⊖側より外すと接片をいためることがあります。
- 1週間以上使用しないときは、電池の漏液などによる内部回路不良を防ぐため、電池を取り出し、ケースのサイドポケットに保管してください。



2. 電池をチェックします。

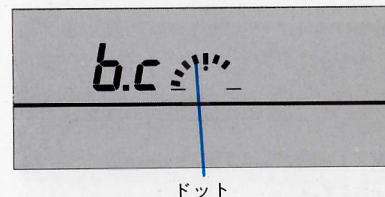
この露出計は、電池の電圧チェックを行います。

【チェックの方法】

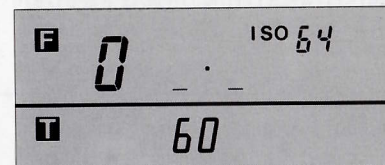
- ①電源ON・OFFキーを押している間は、b.cの表示と電池電圧がドットで表示され、離すと測定状態となります。

【注意】

- 電池の電圧が不足していると、キーを押している間は、b.cマークが点滅または表示が消え不足を知らせます。このときは、新しい電池に交換してください。
- 電池電圧が低下しかかっている電池では、一時的にb.cおよびドットが表示されますが、異常な表示をすることがあります。このようなときは新しい電池と取り替えてください。



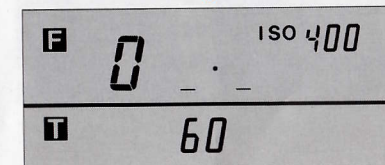
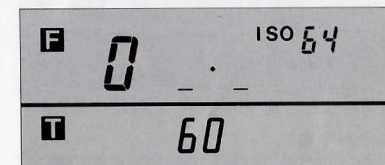
ドット



測定状態



電池不足状態



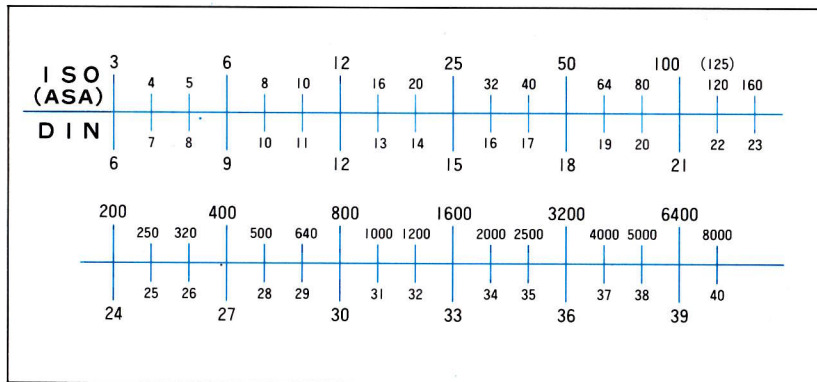
3. ISO感度の切換え

ISOキーを押したまま、▼(ダウン)キーまたは▲(アップ)キーを押して、使用するフィルムのISO感度をセットします。

(例)右の下図は上図よりISOキーを押したまま▲キーを8回押してISO64→400に変換されています。

露出の測定

- ISOキーを押したまま▼キーまたは▲キーを1秒以上押すと、約0.5秒間隔で、両方のキーを押している間、連続で変換されます。
- フィルム感度は、ISO3～8000までセットできます。
- ISO (ASA)・DINの比較は下記のとおりです。

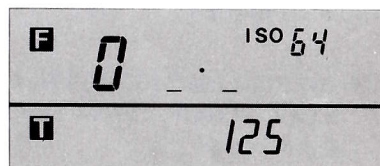
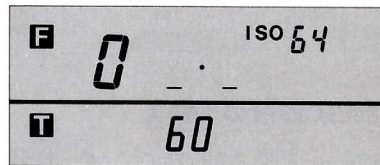


4. タイムの切換え

▼キーまたは▲キーを押して測定するタイムに合わせます。

(例) 右の上図のときに▲キーを1度押すと、下の図のようになります。

- タイム変換できる数値は、 $\frac{1}{16}$ 、 $\frac{1}{30}$ 、 $\frac{1}{60}$ 、 $\frac{1}{125}$ 、 $\frac{1}{250}$ 秒の5段階です。

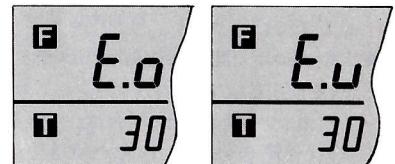
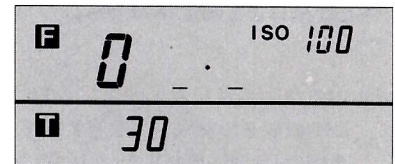


この露出計は、フラッシュ光と定常光の測定ができます。フラッシュ光測定の場合は、露出計とストロボをシンクロコードで接続して測定します。〔定常光の測定はシンクロコードを接続しない状態で使用します。その他は全て同じです〕

〔測定の方法〕

- ①電源ON・OFFキーを押します。
- ②ISOキーを押したまま、▼キーまたは▲キーを押して使用フィルムのISO感度に合わせます。
- ③▼または▲キーを押して使用するタイムを設定します。 $(\frac{1}{16} \sim \frac{1}{250}$ 秒)
- ④露出計とストロボをシンクロコードで接続します。〔定常光の場合はこの項は必要ありません〕
- ⑤測光ボタンスイッチを押すとストロボが発光して約0.5秒後に測定絞り値が表示されます。再度測定するときは、測光ボタンスイッチを再度押してください。

- F(絞り)値連動範囲は、F1.0～90 $\frac{1}{4}$ (90,9)までです。(ISO 100の場合)
- 測定範囲を外れた場合は、F値表示がE.o(オーバー)、E.u(アンダー)が表示されます。
- 測定後、約5分間は測定値が保持されますが、その後は省エネスイッチが作動して自動的にOFFになります。



コントラストの測定

〔ISO変換による測定後の演算について〕

(例) 測定後の表示が右上図のようなとき、ISO数値を100から64に変換すると右下図のように絞り値が8.0 + 1/10から5.6 + 1/10に演算されます。



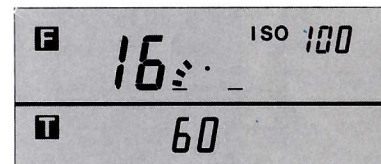
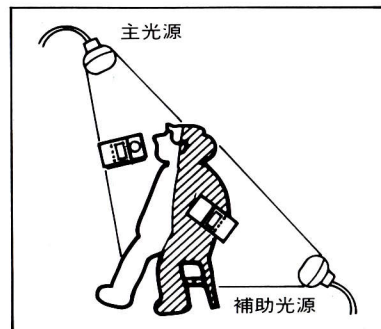
〔注意〕

- フラッシュ光の測定方法は、コードイン測定のみです。
(コードレス測定はできません)
- 測定後のタイムの演算はできません。
- 測光ボタンスイッチを押したとき液晶の表示が約0.5秒間消えますが故障ではありません。
- タイム設定するときは、使用するカメラの同調範囲内であることを確認してください。フラッシュバルブの場合の同調時間は1/30秒以下で測定してカメラのX接点で同調させてください。
- 大型ストロボ(閃光持続時間の長いストロボ)を使用して、フォーカルプレジヤッター付カメラで同調させる場合は、光量不足になる場合があります。カメラのX接点の実同調時間を確認のうえ、ご使用ください。
- 電源ON・OFFキーをOFFすると設定されたISO感度および、タイム(T)は初期設定値にもどります。(ISO64、タイム60)
- 測定後は約5分間で、省エネルギースイッチ回路によりLCD表示は消え、電源はOFFします。ON・OFFキーがONのまま測定前の場合、省エネルギースイッチ回路の時間は5分間の時間に規制されない場合もあります。
- 測定中、LCDの設定値が消えてb、cが表示され、それが点滅する場合は電池が規定電圧以下ですので新しい電池と交換してください。

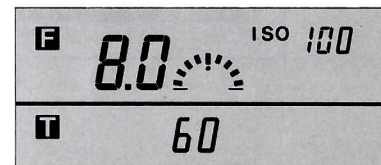
被写体位置で、主光源による明るさと、補助光源による明るさをそれぞれ測定し、照明光源のコントラスト比を調整します。

〔測定の方法〕

- ①白色平板と回転受光部の白点(着脱指標)を合わせ、白色平板を時計方向に回わして取りつけます。
 - ②電源ON・OFFキーを押します。
 - ③ISOキーを押したまま、▼キーまたは▲キーを押して使用フィルムのISO感度に合わせます。
 - ④▼キーまたは▲キーを押してタイムを設定します。
 - ⑤露出計を被写体位置で保持し、白色平板の中心を主光源の中心に正しく向けて測定します。
 - ⑥同様の操作で補助光源の露出を測定します。この場合、主光源からの影響を受けないように注意してください。
 - ⑦そのときの主光源と補助光源の絞り差がコントラスト比になります。
- (例) 右図のように1絞り半ある場合はコントラスト比は3:1となります。



主光源の測定値



補助光源の測定値

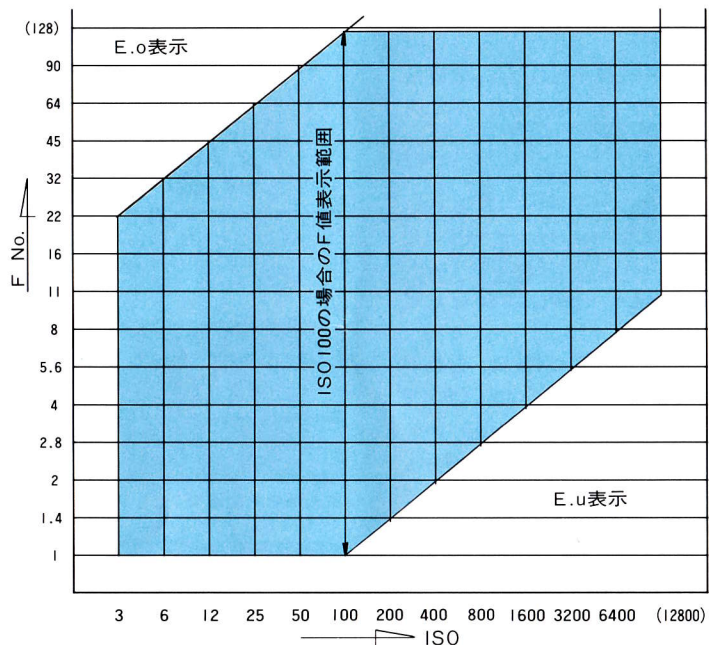
〔注意〕

- 露出の決定は、光球をつけて入射光式で測定してください。
- ストロボ光の測定の場合はシンクロコードをシンクロターミナルと接続して測定してください。

絞り値の段差	コントラスト比
1	2 : 1
1½	3 : 1
2	4 : 1
3	8 : 1
4	16 : 1
5	32 : 1

測定範囲

ISO感度のセットにより測定範囲(F値表示)は、下図のようになります。



取扱い上の注意

お買い上げいただいたセコニック・デジフラッシュL-458は、多くの電子部品で構成された精密電子機器ですので、下記の点にご注意ください。

- a・落下、または急激な衝撃は絶対にさけてください。
- b・極度の高温、多湿な場所には保管しないでください。
- c・光球、白色平板は傷がつかないように、また常に清潔に保つよう
にしてください。
- d・余分な電池の消もうを避けるため、使用時以外は、できるだけON
・OFFスイッチをOFFにしてください。
- e・この露出計の使用温度範囲は、0℃～+40℃です。

万一故障がおきましたときには、最寄の営業所、またはサービス・ステーションにお持ちください。

お近くに、営業所またはサービス・ステーションがなく郵送される場合には厚さ3cm以上の衝撃よけパッキングに包んでから、段ボールなどで梱包してください。

アフターサービスについて

弊社の製品には一定の期間内無料修理をお引受けする保証書が添付されておりますので、記載事項をお確かめのうえ販売店よりお受取りください。

なお保証書の再発行は致しませんので、取扱説明書と併せて大切に保管してください。

●無料保証期間などについて

- ①無料保証期間はご購入日より1年間でございます。
- ②保証書におご購入日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
- ③無料保証期間内でも有料修理となる場合もございますので、保証書の記載事項をお確かめください。
- ④保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

●補修用性能部品の保有期間などについて

- ①補修用性能部品は5年間を目安に保有しております。したがって、本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお故障箇所によりましては期間が過ぎても修理可能な場合がありますのでサービスセンターにお問合せください。
- ②修理可能期間はご使用の状態や環境、お手入の状態などによって異なる場合がありますので、現品をご持参のうえご購入店またはサービスセンターにご相談ください。
- ③修理可能期間内でも浸水冠、強度のショック、その他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題が残ると思われまますものにつきましては修理不可能となる場合があります。

●修理ご依頼時における留意事項

- ①修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各部分検査をはじめ品質的、性能的に必要なと認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご注意ください。
- ②修理をご依頼されたものの中には、単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、⊕⊖の逆、定格違いなどについて、よくお確かめください。

●転居の場合の手続きについて

- ①転居で販売店にご依頼しにくい場合は、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

●お問合せ先について

本製品の保証、修理、使い方などのお問合せは、最寄りのサービスセンターをご利用ください。

仕様

測定方式●入射光式、反射光式兼用

●フラッシュ光および定常光用デジタル露出計

測定範囲●フラッシュ光=F1.0~F90+0.9AV

(ISO 100) ●定常光=EV4~EV21.9

くり返し精度●±0.1EV以内

受光部●入射光式……光球、白色平板

●反射光式……光角度板(受光角55°)

●受光素子……シリコン受光ダイオード

フィルターにより分光特性補正

校正常数●C=340 K=12.5

目盛表示(各数値の表示)

●ISO(ASA)……3~8000($\frac{1}{3}$ SVステップ)

●T(タイム)…… $\frac{1}{15}$ ~ $\frac{1}{250}$ 秒(1TVステップ)

●F(絞り)……1.0~90+0.9AV($\frac{1}{10}$ AVステップ)

小数項 $\frac{1}{3}$ (0~0.9AV)

その他の表示●測定範囲アンダー表示……F値表示部E.u

●" オーバー表示……" E.o

●バッテリーチェック……F値表示部b.c

電池の容量表示

使用電池●単三乾電池(1.5V)1本(JIS:LR6、SUM-3(R6))

標準付属品●光球、白色平板、光角度板(その他別売でシンクロコード)

大きさ・重さ●142×64×28mm、約160g(電池含む)

この取扱い説明書に記載の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。